

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年4月8日

大分県知事 殿



提出者

住所 大分県玖珠郡玖珠町大字日出生1669-44

氏名 有限会社ファゼンダ・グランデ

代表取締役 川藤博紀

電話番号 0973-73-4505

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社ファゼンダ・グランデ
事業場の所在地	大分県玖珠郡玖珠町大字日出生1669-44
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	肉用牛1,850頭
③ 従業員数	9人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿：①自ら堆肥化 動物の死体：①化製場へ委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長

- ・ 廃棄物処理方針の決定
- ・ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認

従業員

- ・ 廃棄物処理計画の作成
- ・ 委託契約の締結事務

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	14,860 t	7.6 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	15,530 t	4.0 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	8,290 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	8,670 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	6,570 t	t
(これまでに実施した取組) 該当なし			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	6,860 t	t
(今後実施する予定の取組) 該当なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		動物の死体
	全処理委託量	t	7.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 動物の死体は化製場に委託し処理している		

② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	動物の死体
	全処理委託量	4.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 動物の死体は化製場に委託し処理する	
※事務処理欄		

令和4年度計画 産業廃棄物処理計画作成のための堆肥化計算根拠

処理対象頭数と発生糞尿量

区分	常時飼育頭数	日発生糞尿量
肉用肥育牛 (24ヶ月齢未満)	1,850	23.0

年排泄量 t①
15,530

項目	条件	計算結果
処理対象糞尿量 (kg)		42,550
処理対象糞水分率 (%)	78	
処理対象糞水分量 (kg)		33,189
処理対象糞乾物量 (kg)		9,361

発酵スタート調整水分 (%)	72
----------------	----

おがくず水分 (%)	25
必要おがくず量 (kg)	5,432
おがくず水分量 (kg)	1,358
おがくず乾物量 (kg)	4,074

混合物総量 (kg)	47,982
混合物水分量 (kg)	34,547
混合物乾物量 (kg)	13,435
混合物水分 (%)	72
混合物容積重 (kg/m ³)	700
混合物容積 (m ³)	68.5

総乾物分解率 (%)	40
1日当たり平均乾物分解率 (%/日)	0.4

必要処理日数 (日)	100
------------	-----

発酵槽必要容積 (m ³)		6,855
堆積高 (m)	4.0	
計算上の発酵槽必要面積 (m ²)		1,714
余裕率 (%)	0	
発酵槽必要面積 (m ²)		1,714

項目	条件	計算結果
糞乾物分解率 (%)	40	
おがくず乾物分解率 (%)	10	
糞乾物分解量 (kg)		3,744
おがくず乾物分解量 (kg)		407

糞分解乾物発熱量 (kcal/kg)	4,500
おがくず分解乾物発熱量 (kcal/kg)	3,000
乾物分解発熱量 (kcal)	18,071.981

水1L蒸発に必要な熱量 (kcal)	900
発酵熱による水分蒸発量 (kg)	20,080

発酵後の乾物量 (kg)	9,283
発酵後の水分量 (kg)	14,467
生産堆肥の合計量 (kg)	23,750
生産堆肥の水分 (%)	60.9

年製造量 t② 減量①-②
8,670 6,860

生産堆肥の容積重 (kg/m ³)	500
生産堆肥の容積 (m ³)	47.5

水田投入堆肥量 (t/10a)	3.0
必要水田面積 (ha)	289

※切り返し回数増

既存堆肥舎2,000m²

令和3年度実績 産業廃棄物処理計画作成のための堆肥化計算根拠

処理対象頭数と発生糞尿量

区分	常時飼育頭数	日発生糞尿量
肉用肥育牛 (24ヶ月齢未満)	1,770	23.0

年排泄量 t①

14,860

項目	条件	計算結果
処理対象糞尿量 (kg)	72	40,710
処理対象糞水分率 (%)	78	
処理対象糞水分量 (kg)		31,754
処理対象糞乾物量 (kg)		8,956

発酵スタート調整水分 (%)	72	
おがくず水分 (%)	25	5,197
必要おがくず量 (kg)		1,299
おがくず水分量 (kg)		3,898

混合物総量 (kg)		45,907
混合物水分量 (kg)		33,053
混合物乾物量 (kg)		12,854
混合物水分 (%)	72	
混合物容積重 (kg/m ³)	700	
混合物容積 (m ³)		65.6

総乾物分解率 (%)	40	
1日当たり平均乾物分解率 (%/日)	0.3	

必要処理日数 (日)		133
------------	--	-----

発酵槽必要容積 (m ³)		8,744
堆積高 (m)	4.0	
計算上の発酵槽必要面積 (m ²)		2,186
余裕率 (%)	0	
発酵槽必要面積 (m ²)		2,186

既存堆肥舎2,000m²

項目	条件	計算結果
糞乾物分解率 (%)	40	
おがくず乾物分解率 (%)	10	
糞乾物分解量 (kg)		3,582
おがくず乾物分解量 (kg)		390

糞分解乾物発熱量 (kcal/kg)	4,500	
おがくず分解乾物発熱量 (kcal/kg)	3,000	
乾物分解発熱量 (kcal)		17,290,490

水1L蒸発に必要な熱量 (kcal)	900	
発酵熱による水分蒸発量 (kg)		19,212

発酵後の乾物量 (kg)		8,882
発酵後の水分量 (kg)		13,841
生産堆肥の合計量 (kg)		22,723
生産堆肥の水分 (%)		60.9

年製造量 t② 減量①-②

8,290 6,570

生産堆肥の容積重 (kg/m ³)	500	
生産堆肥の容積 (m ³)		45.4

水田投入堆肥量 (t/10a)	3.0	
必要水田面積 (ha)		276